

なかの 市議会だより

11月号

2024年(令和6年)
11月5日発行
No.78

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



▲久石譲氏指揮による
新日本フィルハーモニー
交響楽団のコンサート



◀「シンペイ～歌こそすべて」
映画完成披露試写会

市民会館 ソソラホール

オープニングイベント

9月定例会

開会	閉会	会期	●議案等件数及び議決内容	条例案	予算案	決算案	事件案	人事案	意見書案	その他	陳情	●市政一般質問
9月3日	9月26日	24日間		5件 可決	8件 可決	9件 認定	6件 可決	1件 適任	2件 可決	1件 可決 1件 選任	2件 不採択	33件



笠原 豊

マイナンバーカードの普及と利用促進等について

質問 中野市のマイナンバーカード保有者数と保有率および健康保険証の利用登録者数は。

答弁 7月31日現在のカード保有者数は3万1千379人で、保有率は73・7%。国民健康保険の加入者数は6月30日現在9千521人で、マイナ保険証の登録が5千795人。後期高齢者医療保険は加入者数7千739人で、マイナ保険証の登録が4千195人である。

質問 マイナ保険証に関する広報は。

答弁 8月1日更新の保険証発送時などに、チラシを同封するなど周知に努めている。また、広報なかのや公式ホームページに、新規の保険証発行が12月1日で終了することのお知らせを掲載する。

質問 マイナンバーカード未取得者で市役所に来庁できない人への対応は。

答弁 施設や個人宅など希望される場所へ職員が訪問し、申請を受け付け、後日、簡易書留で郵送するなどの対応をしている。

中野市Aーオンデマンド交通「ふれAータクシー」について

質問 市民への周知は。

答弁 対象地区の延徳、平野、高丘地区へチラシを配布し、事業概要や登録方法、説明会の周知をする。スマートフォンアプリのインストール支援は、説明会のほか希望者には個別に対応し丁寧な支援を行う。

空き家等の解体や跡地の活用促進について

質問 事業者や移住者以外の人を対象にした補助制度の創設の検討は。

答弁 空き家の解体工事には、多額の費用を要するなどの理由から解体が進まず、結果的に空き家が危険な状態になってしまう事例もある。今後、近隣市町村の事例を参考に、まちづくり基本計画に基づき検討する。

带状疱疹ワクチン接種の公費助成について

質問 市の早期導入の検討状況は。

答弁 市では、市長会を通じて、国に早期の定期接種化および必要な財政措置について働きかけをしているが、市独自の公費助成は考えていない。国が定期接種化し、带状疱疹がB類疾病に追加された場合は、接種費用の3割程度が地方交付税措置され、接種費用の個人負担以外は、市が負担することが想定される。



高木 尚史

マイナンバーカードとマイナンバーカードの健康保険証利用について

質問 マイナンバーカードの保有率とトラブルの実態把握はどうか。

答弁 保有者数は7月31日現在3万1千379人、保有率は73・7%。トラブルの実態は、利用時に暗証番号を忘れたとの問い合わせが多く、再設定について市役所窓口で対応している。医療機関では、顔認証がうまくいかない、暗証番号を間違えて利用できない等の声を聞いている。

質問 12月2日以降、健康保険証が発行されない。マイナ保険証の利用状況と今後の対応は。

答弁 現在発行の健康保険証は、有効期限の令和7年7月31日まで使えるもので、マイナ保険証の登録がない方には資格確認書が発行される。今後、広報なかのや公式ホームページなどで周知していく。マイナ保険証の利用状況は、国民健康保険は10・3%、後期高齢者医療保険は5・5%となっている。

中野市公民館と中野市文化センターについて

質問 社会教育法第20条および21条

により設置している公民館と市の条例に基づいて設置している文化センターは、同一所在地・同一建物となっているがその違いは何か。

答弁 市の4公民館は社会教育法と市公民館条例に基づき設置しているが、西部公民館と豊田公民館は市民の文化の振興と福祉の増進を図るため市文化センターとして位置づけて利用促進に努めている。

質問 公民館は、専ら営利を目的とした事業に利用するときは使用を許可してはならないと定めている。貴金属の取り扱い商法が公民館で実施されたが、許可した理由は何か。

答弁 文化センター条例は営利目的による使用を制限していないため許可したが、後は施設運営のため課題があり、見直しを図っていきたい。

図書館のあり方について

質問 リニューアル工事の内容と利用者への影響はどうか。

答弁 子どもから大人まで気軽に使える図書館をコンセプトに整備している。今後は、潜在的な利用者の獲得につながるものと考えている。

質問 基本的運営方針の策定が努力義務である。今後の運営方針は。

答弁 平日の閉館時間を午後8時までで試行延長し、受託業者と連携して市民に親しまれる図書館になるよう運営に努めていく。



松野 繁男

民営化保育所建設に対する追加支援等について

質問 来年4月民設民営で開園予定の2園の運営事業者から工事費等の高騰を理由に4億円の追加支援要請を受けたが、市長の思いはどうか。

答弁 多くの方が来年4月の開園を望んでおられること、また、早急に事業を進めないとさらなる価格高騰による事業費の増加を招く恐れがあることなどの思いを持った。

質問 支援しなかった場合の事業への影響をどう考えるか。

答弁 事業者には、自主財源としてこれ以上収入となるものが見込めないため、事業そのものが止まる可能性があること、また、事業者負担の増額により、開園後の運営に支障を来すことなどが考えられる。

質問 早く建て替えて、良い保育をしてほしいとの声がある一方で、今回の支援要請について厳しい意見もあるが、市長の考えは。

答弁 特に平野、高丘は早く改築する必要があると感じていた。次の世代の子供たちを大切にするのがいいの一番と思い、この事業を進めている。

遊休農地対策について

質問 農業者の高齢化や後継者不足等で農地の放棄がみられ、病害虫の発生が報告されている。市の対策や遊休農地の所有者との交渉は。

答弁 農地の適正な管理は農地所有者等の責務であるため、現地を確認し、所有者等に対し枝の除去や害虫の駆除等をお願いしている。農業委員会と連携し、適正管理を依頼。耕作予定がない場合には、農地の貸し出し手続きについて説明している。

中山晋平、高野辰之両氏の功績の顕彰について

質問 両氏の功績を顕彰するため、漫画冊子を作成し、偉業を分かりやすく伝えたらどうか。

答弁 両氏の偉業をより深く理解していただくための新たな方策を検討する中で、研究していく。

放課後児童クラブについて

質問 利用者の保護者からの苦情等への対応は。

答弁 指定管理者が苦情窓口を設置しているほか、市に寄せられた苦情については、市から必要な指導・助言を行い適切に対応している。

その他の質問

・経済対策について



松樹 純子

保育所民営化推進事業について

質問 事業者の支援要請額の根拠は。

答弁 建設工事の入札での予定価格と落札額の差額である。

質問 施工業者決定に至る入札等のプロセスは。

答弁 指名競争入札の結果、両園ともに予定価格を下回る業者がなかったため、入札額が低い各2社と協議の上、事業者の判断で、入札額が低い業者を落札候補者と決定し、正式契約が行われた。

質問 施工業者決定や入札への市の関与は。

答弁 市職員が入札に立ち合い、後日、落札候補者決定の報告を受けた。

質問 補正予算で支援する理由は。

答弁 本事業の目的を達成するため必要と判断したためである。

猛暑対策について

質問 クーリングシェアターに指定された場所と稼働日数は。

答弁 公共施設6カ所と、民間施設5カ所を指定したが、この夏は熱中症特別警戒情報の発表がなかったため、稼働していない。

質問 クールシェアスポットの利用状況等と、来年度以降の設置方針は。

答弁 利用状況等は把握していないが、熱さをしのぎ、涼める場所として活用してほしい。今後も対象施設の拡充を進めていく。

信州中野アーチェリーセンターについて

質問 整備の意義と今後への期待は。

答弁 障がいの有無や性別、年齢を問わず楽しめるため、世代や地域を越えた幅広い交流が図られると考える。元五輪代表選手が常駐しており、アーチェリー競技と生涯スポーツの普及の拠点に、また、新たな観光資源となることにも期待している。

質問 冬季の利用についての考えは。

答弁 駐車場や通路などの除雪を、状況に応じ、適切に対応していく。

手話言語条例について

質問 手話言語条例をどうとらえているか。

答弁 手話を言語として考えていくことの意義や、情報コミュニケーション手段としてさらなる理解を広げることの大切さを確認している。

質問 条例制定への見通しは。

答弁 先進事例の効果等を見ると、関係者の意見を聞きながら検討するが、成文化にはそれほど時間がかからないと考えている。



塚田 一夫

積立基金について

質問 令和5年度の積立残高は、一般会計および特別会計の20基金合せて113億9千570万1千円となっているが、各年度における財政の調整や緊急災害時のための資金となる財政調整基金26億5千137万6千円に対して、市はどのように考えているか。

答弁 財政調整基金の残高は、一般的に基準財政規模の10%から20%までが適正規模とされている。本市の標準財政規模はおよそ130億円であることから、基金残高は適正と考えている。

質問 それぞれの基金ごとに管理と運用を行っているとのことだが、全基金を合算し、一定の流動性ある貯蓄を確保しておくことによって、残りの大きな金額を運用に回すことができる基金一括運用の考えはないか。

答弁 基金の一部運用については、現状においても残高が少ない基金については取りまとめて運用を行っており、一括運用は考えていない。

ふるさと寄附金に対する返礼品提供業務について

質問 ふるさと納税業務の委託先が、

本年4月より地元事業者から仲介業者のポータルサイトでもある「さとふる」に移行したが、その理由と返礼品協力事業者の反応は。

答弁 「さとふる」が指定するふるさと納税ポータルサイトの返礼品の管理や配送に関わる業務を行うことで、昨年度実績から推計すると年間1千万円程度の経費削減が見込まれる。また、返礼品協力事業者にとっても返礼品の登録が1回だけで複数のポータルサイトへ一括掲載が出来るようになったことははじめ、在庫管理や配送管理も一元化されたため、負担軽減が図られたと聞いている。

家計改善支援について

質問 スマートフォンをはじめ、固定電話やインターネット環境などの通信関係に係る毎月の支払額が高額になり困っているとの話をよく聞くが、高齢者世帯のために通信費見直し等の相談窓口を設けられないか。

答弁 現在、家計に課題のある生活困窮者への支援の中で、情報機器やサービスを確認しつつ、通信費見直しの助言や必要に応じて通信事業者の窓口まで同行等の支援を行っている。高齢者を対象としたスマートフォン契約などの家計改善の相談窓口の設置は考えていないが、生活に困窮している高齢者については引き続き家計改善支援事業で対応していく。



土屋 博

東山公園一帯の管理と活用等について

質問 東山公園一帯の管理状況と市の関わりはどのようになっているか。

答弁 東山公園一帯の管理は、草刈り、花木の剪定、公衆トイレの清掃についてはシルバー人材センターと社会福祉協議会へ、公園、休憩所の清掃は、地元区や東山観光協会へ市が業務委託している。鴨ヶ嶽登山道の整備は、ボランティアの協力により実施している。

質問 東山公園内には、大小多数の石碑などがあるが、管理されていない施設や石碑等の扱いは。

答弁 管理されていない施設や石碑等については、公園一帯の景観維持、環境整備に合わせて、市の委託により一部、周囲の草刈りを行っている。

質問 東山公園一帯のにぎわい創出のための施策や市内観光施設との連携の考えは。

答弁 日本土人形資料館まつり、巡り逢いの丘を活用したイベント等を信州なかの産業・観光公社とともに実施することでにぎわいの創出に努めている。市内観光施設を巡って小さな土人形を集めるイベント等を開

催しているほか、桜の名所を巡るツアーなどの企画や新たなアクティビティーによる観光ルートの整備など、さらににぎわいのある場所となるよう、観光関係機関や近隣市町村と連携したイベントの開催などについて研究していく。

質問 歴史や平和教育の教材としてどう活用するのか。

答弁 市指定文化財、歴史ある寺院、満州開拓殉難者慰霊塔など、歴史や平和を学ぶことのできる地域教材が多くあることを改めて小中学校に周知していく。

平和教育の推進について

質問 市では、今年度から満蒙開拓平和記念館の自治体パートナー制度へ加入した。小中学校での平和学習や公民館活動の講座等で、この制度を活用してはどうか。

答弁 満蒙開拓平和記念館は、平和や歴史を学習できる施設として、小中学校に周知していく。公民館では、満蒙開拓平和記念館等と連携して、平和教育に関する講座の開催について研究していく。





阿部光則

保育所民営化推進事業について

質問 民設民営で整備する平野・高丘保育園について、予定を大幅に超える工事費となったことから、事業者から支援要望が出され、4億円の追加支援の補正予算が提案されている。これまでの経過は。

答弁 2園の設置運営候補事業者は、プロポーザル方式で総合的に選定した。選定理由は、認定こども園の運営実績があり安定的な経営が望め、加えて敷地が広く園庭や駐車場が十分に確保できることなどである。事業者による入札の結果、予定価格を下回る業者がなく、事業者から支援要請の要望書が提出された。

質問 昨年10月に公表された中野市公立保育所民営化に係る設置運営候補事業者募集要項には「令和6年度以降の補助制度は未定であり、補助金が見込みどおり得られなかった場合でも、市は補填等をするとはできないので、自己資金を含む資金計画に十分な余裕をもって応募ください」とあるが、この点はどうか。

答弁 募集要項はあくまでも事業者を決定するためのものである。事業の候補者が決定した後に協定書を締

結し、募集要項を尊重しながらも、協定書に基づき事業を進めている。

質問 想定外のことだから募集要項を変えるということでは、行政のやり方として適切なのか市民から問われると思うがどうか。

答弁 今回の補助金については、物価高騰という想定外のことであり、ご理解願いたい。また、物価高騰でさまざまな工事ができない状況があるということは、国が示す単価と実勢単価との開きかなりあるものと考えてる。

農業振興について

質問 農業新聞の一面トップ記事に、新規就農者が2年連続で過去最低を記録したとの記事が掲載された。中野市の状況はどうか。

答弁 令和元年度の21人に対し、5年度は16人であり、減少傾向にある。

質問 国の農業予算が減り続けているなか、新規就農者への支援策の実態はどうか。

答弁 国の新規就農者に対する補助制度のほか、市独自の制度として農業技術を習得するための研修への支援のほか、親元就農した方への支援や市外から移住して就農する方に、住居や機械などの購入や借入をする費用に支援を行っている。

その他の質問

・マイナンバーカードについて



渡辺菊男

中学生の海外短期留学事業について

質問 コロナ禍以前に実施していた海外短期留学事業について、学校や保護者会等からの要望はあるか。

答弁 現在、市民からの要望はない。

質問 実施に際しての課題や支障は。

答弁 本市には海外に交流のある都市がないため、留学先の選定に苦慮した。自己負担もあり、2年目は募集枠を満たすことができず、多くの課題があると認識している。

質問 子どもたちの育成の「環」としてどのように考えるか。

答弁 過去の実施アンケートからは、大変貴重な経験であったことがうかがえるが、対象者が限られることなどが課題である。

中野市合併20周年について

質問 中野市合併20周年について、記念式典や記念事業を考えているか。

答弁 来年10月に「中野市誕生20周年記念式典」を開催する予定である。記念事業としては、年間を通してイベントを実施していきたい。

質問 これまでの検証や課題整理は。

答弁 市政の検証等は、必要なタイミングで随時行うべきものと考えている。合併20周年を契機とした課題検証等を行うことは考えていない。

市長公約の成果検証について

質問 4年間の成果と自己評価は。

答弁 コロナ禍により、多くの事業が実施できなかったが、子育て支援施策を柱に事業を展開してきた。公約の9割以上に着手し、6割程度実現できた。「お出かけ市長室」や市政報告会では、一定の評価もあるが、さまざまな課題も実感している。

質問 公約である「経済活性化」についてはどうか。

答弁 にぎわい創生やマルシェ開催の事業補助金の創設により、ユニークかつ魅力的なイベントで大きな成果があった。市外からの「外貨」獲得では、ふるさと寄附金で20億円を超え、また二本木公園多目的駐車場の整備は、近隣からの苦情も無くなり、来園者増につながっている。

質問 公約である「交流・人材」についてはどうか。

答弁 地域密着型特別養護老人ホームは、応募がなく断念せざるを得ない状況で、IT企業誘致については進展がなかった。ハブリックのほか、タカギセイコーふるさとパークや信州中野アーチェリーセンターはまさに交流の拠点として整備したもので、いずれも、今後の発展性が期待できる事業を展開してきたと考えている。



本田 将伸

職員の交通事故等について

質問 職員による事故等の実態は。

答弁 安全不確認による事故が主なものである。

質問 事故の原因分析および職員への交通安全指導はどうか。

答弁 原因分析は行っていないが、職員が道路交通関係法令違反や交通事故を起こした場合、市の規程に基づき報告書を提出し、これを受け、所属長などが指導を行い、違反内容により懲戒処分等を行っている。

質問 公用車への後方確認装置の装着状況はどうか。

答弁 普通乗用車に分類される公用車については、バックカメラをほぼ装着しているが、軽自動車の多くは未装着となっている。今後、公用車を更新するに当たり、バックカメラの装着を考えていく。

質問 交通事故等防止の取り組みは。

答弁 職員には、随時、常に公務員であることを強く自覚し、道路交通関連法を遵守させ、率先して他の模範となるよう周知している。また、道路交通法に基づき選任している安全運転管理者1名および副安全管理者6名は、年1回の法定講習を受講し、安全運転指導を行っている。

投票率向上について

質問 他市が推進している親子連れ投票を、本市も推進してはどうか。

答弁 子供の頃に、親と一緒に投票所へ行った場合、投票参加率が高くなるという総務省の調査結果を受け、本委員会においても推奨している。

11月執行予定の中野市長選挙等では、期日前投票期間中に保護者と一緒に投票所へお越しいただいた18歳未満の方に、来場記念として缶バッチをプレゼントする予定である。

質問 移動期日前投票所を増やす考えは。

答弁 投票所から距離のある豊田地域4カ所と大俣公民館および商業施設1カ所で開設しており、通常の期日前投票所も5施設で開設している。選挙日程の都合や投票管理者となる人員の確保が困難であることから、増設は考えていない。

質問 投票所となる各地区の公会堂などで、スロープの設置やバリアフリー化、LED照明化等、施設の環境づくりも重要ではないか。

答弁 施設にスロープ等が無いことで投票が困難な方に対しては、今後、投票事務職員が介助を行う。投票所としてお借りする施設の改修等について申し上げる立場にないが、公民館等の改修には、市の補助金を活用することも可能とのことである。



中村 明文

平野・高丘保育園の民営化について

質問 民営化保育所施設整備費等補助金について支援要望があった金額の積算の確認はどのようにしたのか。

答弁 支援要望額は、建設工事の入札に係る予定価格と落札額の差額であつたことから、国が公表する数値、県内の状況を確認したほか、事業者や落札業者にも聞き取りを実施した。

質問 支援額を4億円とした経緯は。

答弁 工事設計書の確認のほか、事業者においても追加で資金調達されることから4億円としたものである。

質問 新園の職員の採用状況等を把握しているか。

答弁 事業者によると60数人の採用予定人数に対し、半数以上の内定をしているとのことである。

職員について

質問 令和7年度の職員採用について職員採用試験の応募状況は。

答弁 応募状況は、「行政職・大学卒業程度」は、ほぼ昨年と同程度、「保育士・短大卒業程度」および「一般事務職・高校卒業程度」は、昨年と比較して増加している。

質問 職員定数に対する充足率の改善は。

答弁 職員定数に対する充足率は、定数条例の568人に対して、本年4月1日現在職員数は、408人であり充足率は71.8%である。

質問 会計年度任用職員の給与改善は。

答弁 給与改定の遡及適用を検討している。

質問 公益通報制度について制度化されているのか。また、条例等の制定の考えは。

答弁 「中野市公益通報の処理に関する要領」を制定して、相談窓口など設置し、職員に周知を図っている。運用上問題ないこと、制度の周知をさらに徹底することが重要であることから条例等の制定は考えていない。

カスタマーハラスメントについて

質問 職員に対するカスタマーハラスメントの実態は。また、カスタマーハラスメント防止条例の検討は。

答弁 職員に対し、大声での主張や必要以上に長時間の対応をしなければならぬ事例などがあり、状況により警察に協力を求めたこともある。不当要求行為等には組織的な取り組みを行っており、市職員を対象とした条例の制定は考えていない。

その他の質問

・中野西高等学校の校地について

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案1件、補正予算案2件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和6年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、民生環境委員会所管の民生費の保育所民営化推進事業費4億円の増額については、大きな問題があり、丁寧な説明も尽くされていない状況との考えから、本委員会所管部分である歳入のうち、19款繰入金のふるさと振興基金繰入金4億円を全額減額する修正案の提出がありました。審査では、市民の理解を得ながら事業を進めていくことが大事であり、一旦立ち止まることが適当との修正案に対する賛成意見と、今回の4億円を補助しても、公設で建設するよりも市の財政負担は少ない。建設資材と労務費の高騰は今後も心配されるところであり、建設を止めることは、デメリットが大きい。財源としてふるさと振興基金を使うことは、安心子育てに寄与するもので理解できるとの原案に対する賛成意見があり、採決の結果、修正案は、賛成少数で否決。原案については、賛成多数で可決されました。

そのほか、条例案1件、予算案1件につきましては、原案どおり可決されました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案4件、予算案3件、事件案4件、陳情3件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和6年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、子ども部所管部分では、民生費の保育所民営化推進事業費4億円の増額について、金額の不透明さがあり、市民への説明をきちんとすべきであるとの考えから、4億円を全額減額する修正案の提出がありました。審査では、修正案に賛成との意見と原案に賛成の意見それぞれがあり、採決の結果、修正案は賛成少数で否決。原案については、賛成多数で可決されました。また、くらしと文化部所管の公会堂建設事業補助金176万円の増額や健康福祉部所管の予防接種委託料4千554万3千円の増額などについては、原案どおり可決されました。

事件案では、中山晋平記念館ほか1施設の指定管理者の指定について、中山晋平記念館と高野辰之記念館に來年度から新たに指定管理者制度を導入し、指定管理者を指定するもので、原案どおり可決されました。

そのほか、条例案4件、予算案3件、事件案3件につきましては、原案どおり可決。陳情2件につきましては不採択、陳情1件につきまして

は、趣旨理解できないとされました。審査終了後、中央子育て支援センター、市民体育館および子育て支援拠点施設ハブリックを視察しました。



中央子育て支援センターを視察

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案4件、事件案1件、陳情1件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和6年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、農林水産業

費では、団体営土地改良事業補助金などで427万5千円の増額、土木費では、道路修繕、河川および水路改修などで3千51万円の増額であり、原案どおり可決されました。また、令和6年度中野市水道事業会計補正予算（第1号）について、令和7年度から令和11年度までの間、上下水道事業の窓口業務等を民間に委託し実施することから、必要となる経費についての債務負担行為の補正であり、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案2件、事件案1件、原案どおり可決されました。陳情1件については、不採択とされました。



排水樋門の工事現場を視察

決算特別委員会報告

9月定例会開会日におきまして、議長および議会選出の監査委員を除く議員17人による決算特別委員会を設置され、委員長に宇塚千品議員、副委員長に高木尚史議員を選出し、令和5年度の決算議案の審査を行うこととしました。

決算特別委員会に付託された決算認定議案9件、事件案1件について、9月13日、17日および18日に審査しました。

主なものとして、令和5年度中野市一般会計歳入歳出決算認定については、歳入総額270億645万2千347円、歳出総額260億9千760万5千979円、歳入歳出差引額9億884万6千368円となるものです。

歳入では、市税は法人市民税および固定資産税の減などにより前年度比5・0%の減少、地方交付税は普通交付税および特別交付税の減により前年度比6・2%の減少、国庫支出金は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金および新型コロナウイルススワクチン接種対策費国庫負担金の減などにより前年度比4・8%の減少、寄附金はふるとと寄附金の増などにより前年度比21・7%の増加、市債は市民会館リノベーション事業による公共施設等適正管理推進事業債の増などにより前年度比93・4%の増加でありました。

歳入全体としては、前年度比2・2%の増加でした。

歳出では、議会費は前年度比1・5%の減少、総務費は市民会館リノベーション工事費の増加などにより前年度比3・3%の増加、民生費は社会福祉費の臨時特別給付金給付事業における、物価高騰対応重点支援の臨時特別給付金の増などにより前年度比5・0%の増加、衛生費は新型コロナウイルススワクチン接種事業費の減少などにより前年度比7・6%の減少、労働費は中野地域職業相談室移転工事費の皆減などにより前年度比12・8%の減少、農林水産業費はエノキ茸栽培施設解体等工事費の皆減、下水道事業会計負担金（農集分）の減などにより前年度比12・4%の減少、商工費はふるとと寄附金返礼品に係る経費の増加などにより前年度比12・9%の増加、土木費は道路舗装費における表層舗装工事費の増などにより前年度比27・9%の増加、消防費は岳南広域消防組合分担金の減少などにより前年度比1・9%の減少、教育費は博物館費における空調設備改修工事費の皆減などにより前年度比1・7%の増加、公債費は前年比4・6%の減少、災害復旧費は前年度比75・9%の減少でありました。

歳出全体としては、前年度比3・9%の増加でした。

本議案については、審査の結果、原案どおり認定されました。

そのほかの特別会計および企業会計の決算認定議案8件、事件案1件については、原案どおり認定および可決されました。



議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様子を視聴することができます。是非、ご覧ください。

視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継 平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



中野市議会HP

■意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書について

国民健康保険は、国民皆保険の根幹として極めて重要な役割を果たしているが、加入者に高齢者や自営業者だけでなく、非正規雇用の拡大のもと所得が低い若い世代や雇用者も多く、財政基盤が脆弱であるという構造的な問題を抱えている。

国は、低所得の方々の保険料軽減措置として毎年約3千400億円の財政支援を行っているが、全国知事会や全国市長会から、さらなる公費の投入が必要だと要望が出されている。

そもそも、低所得者が多く、保険料に事業主負担がない国民健康保険は相当額を国庫で負担する必要がある、他の健康保険とのアンバランスは極力是正すべきである。

また、国民健康保険には世帯の被保険者数に応じて賦課される均等割があり、2022年から未就学の子どもの均等割の減免が実施されているが、さらなる支援が必要である。

公的医療保険は、国民に平等に医療を保障するための仕組みであ

り、加入する保険によって、負担や給付に大きな格差があることは、そもそも制度の趣旨に反する。同じ収入・世帯構成の家族が、加入する保険が違っただけで、保険料の負担が大きく異なる格差を解消することは、社会の公平・公正という点からも欠かさないものである。

よって、中野市議会は、国に対し、国民健康保険財政への国庫負担の増額を強く求めるものである。

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書について

1979年、国連総会は、あらゆる分野で女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障する「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を採択した。採択に賛成した日本は、

1985年にこの条約を批准し、現在、締約国は、189か国となっている。

1999年には、条約の実効性を強化し、一人ひとりの女性が抱える問題を解決するために、国連総会は、あらためて女性差別撤廃条約選択議定書を採択した。現在、

条約締約国189か国中115か国がこの選択議定書を批准しているが、日本はまだこれを批准していない。

選択議定書には「個人通報制度」と「調査制度」の2つの手続きがある。これらは、条約で保障され

た人権を侵害された被害者が、国内の救済手続を尽くした後、条約機関である女性差別撤廃委員会に申立てを行うことができ、女性差別撤廃委員会がこれを審査して見解を出すというものである。女性差別撤廃委員会が通報者の人権侵害を認める見解を出したとしても、

この見解は当該締約国に対し法的な拘束力を持つものではない。しかし、この選択議定書を批准することは、国際的な人権基準に基づき女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化できるものである。

条約の実効性の確保を図ろうとする国際的動向の下で、日本政府は選択議定書の審議に参加し、決議に加わり、女性差別撤廃の重要性を表明しているが、2024年6月に発表の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数の順位では、日本は世界146か国中118位である。

女性差別撤廃条約が採択されて40年を超え、女性に対する差別を撤廃し、女性活躍を図るためには、男女平等社会の実現に向けてさらなる施策が急務である。

政府は、第5次男女共同参画基本計画で「女性差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としており、2024年10月には、女性差別撤廃委員会による第6回の日本報告審議が行われることとなっている。

よって、中野市議会は、国に対し、我が国の司法制度や立法政策との関連課題等が早急に解決されるよう環境整備を進め、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう強く要望するものである。

■陳情

◎「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

陳情者

中高地区労働組合連合会 議長

◎新型コロナ、レプリコンワクチン接種の中止のお願い

陳情者 個人

◎政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情

陳情者

長野県医療労働組合連合会 執行委員長

◎現行の健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者

長野県保険医協会 会長

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	渡辺菊男	土屋博	笠原豊	江口栄光	本田将伸	中村明文	中村秀人	塚田一夫	松樹純子	宮島包義	宇塚千晶	芦澤孝幸	小林忠一	阿部光則	松野繁男	原澤年秋	高野良之	芋川吉孝	高木尚史
議案第2号	中野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第3号	中野市保育所条例の一部を改正する条例案	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議	○	×	○	○	○	○	×
議案第4号	中野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第6号	令和6年度中野市一般会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議	○	×	×	○	○	○	×
一	令和6年度中野市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○
議案第7号	令和6年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第14号	令和5年度中野市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第15号	令和5年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第23号	中山晋平記念館ほか1施設の指定管理者の指定について	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議	○	×	○	○	○	○	×
議案第24号	中野市市民会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	○	×	×	×	×	×
陳情第2号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	×	×	×	×	○
陳情第3号	現行の健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	×	×	×	×	○

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席
 ※ 議は議長（可否同数以外は表決に加わりません）



（注）EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）
 経験や直感ではなく、データや合理的根拠をもとに政策を立案すること。

9月27日、飯山市で、北信地域議会議員研修会が開催されました。当日は、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村および中野市の6市町村の議員約70名が参加しました。文化交流館なちゅうで、総務省統計研究所統計技術研究官 長尾伸一氏を講師に、「地方議会におけるEBPMの推進について」と題した講演をお聴きしました。

北信地域議会議員研修会



10月1日、須坂市において、北信3市議会議員研修会が開催されました。この研修会は、須坂市、飯山市および中野市議会の議員が一堂に会し、議会活動などについての見識を深めるため毎年開催されているものです。当日は、長野県立大学グローバルマネジメント学部 教授 学部長 穴山悌三氏を講師に迎え、「私たちの暮らしとエネルギー産業の革新」と題した講演をお聴きしました。

北信3市議会議員研修会

9月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第16号	令和5年度中野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第2号	中野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第17号	令和5年度中野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第3号	中野市保育所条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第18号	令和5年度中野市倭財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第4号	中野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第19号	令和5年度中野市永田財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第5号	中野市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第20号	令和5年度中野市中野財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第6号	令和6年度中野市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	議案第21号	令和5年度中野市下水道事業会計決算認定について	認定
議案第7号	令和6年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	議案第22号	令和5年度中野市水道事業会計決算認定について	認定
議案第8号	令和6年度中野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	議案第23号	中山晋平記念館ほか1施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第9号	令和6年度中野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	議案第24号	中野市市民会館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第10号	令和6年度中野市倭財産区事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	議案第25号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第11号	令和6年度中野市永田財産区事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	議案第26号	中野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	原案可決
議案第12号	令和6年度中野市中野財産区事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	議案第27号	令和5年度中野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第13号	令和6年度中野市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	議案第28号	市道路線の認定について	原案可決
議案第14号	令和5年度中野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第15号	令和5年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議第1号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書について	可決
			議第2号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書について	可決

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。
 市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。
 聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。
 ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。
 音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) F A X (22) 5922

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

手話通訳申請
ながの電子申請サービス市議会を
傍聴しませんか

表紙の写真

市民会館ソラホール
オープニングイベント

リニューアルオープンした市民会館ソラホールで、9月15日に、中山晋平の生涯を描いた映画「シンペイ」歌こそすべて」の完成披露試写会が開かれました。神山征二郎監督、晋平を演じた歌舞伎俳優の中村橋之助さん、母ぞう役の土屋貴子さんが登壇されました。舞台あいさつがあり、大いに盛り上がりしました。

また、9月29日には、本市出身の作曲家久石譲さん指揮による新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートが開かれ、会場は700人以上の方で熱気に包まれました。

ソソラホールでは、今後も、歌手で中野市音楽親善アンバサダーの麻衣さんと自身が主催するコーラスグループ「リトルキャロル」が、ソソラホールのピアノ「スタインウェイD274」を選定した人気ピアニスト・菊池亮太さんと共演するコンサートや、落語家春風亭小朝さんの独演会など、さまざまなイベントが企画されています。文化芸術振興の拠点として、広く活用されることが期待されます。

(写真提供 中野市広報)



中山晋平の映画完成試写会



令和6年12月中野市議会
定例会会期日程(予定)

○開会日	12月3日(火曜日)
○市政一般質問	12月10日(火曜日)
○委員会	12月11日(水曜日)
	12月12日(木曜日)
	12月13日(金曜日)
○閉会日	12月16日(月曜日)
○請願・陳情について	12月18日(水曜日)
12月定例会における請願書および陳情書の受付は、11月15日(金曜日)の午後5時までです。	
※他の行事等により日程を変更する場合があります。	

第6代後期
議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	中村 明文
副委員長	塚田 一夫
委員	渡辺 菊男
	土屋 博
	江口 栄光
	本田 将伸
	松樹 純子
	小林 忠一
	阿部 光則
	高野 良之

あとがき

市民会館ソラホールのオープニングイベントの一環として、本市出身の久石譲さん指揮による新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートが開催されました。

当日は満席のお客様で、演奏も大変熱のこもったものでした。最初のブラームスの交響曲第1番は、普段聞いているものより、テンポが速く久石さんの気合が感じられました。ソソラホールの音響もすばらしく、これまでのいろいろなホールでオーケストラを聴いてきましたが、各楽器の音の分離度がよく、大変聞きやすいホールだと思います。

今後も、オーケストラコンサートをはじめ、市の文化芸術の拠点として、さまざまな企画を期待しています。

